

■結果票「リクルーター・面接官向けスキル セルフチェック」(サンプル)

◆ リクルーター・面接官向けスキル セルフチェック 結果票 ◆

採用力が未来を変える 

様

2023年08月29日
一般社団法人日本採用力検定協会

代表理事 伊達 洋駆



■ 受験情報

試験名	リクルーター・面接官向けスキル セルフチェック	受験者名	
受験日	2023年03月08日	メールアドレス	

■ 試験結果

分野	定義	正答率
1 採用の基礎知識	採用の種類や求人倍率、そして適性検査など、採用に関わる人であれば、最低限知っておいた方が良い知識を出題しています。リクルーター・面接官は、最前線で候補者の質問を受ける位置にいます。これらの知識を身につけておくことで、候補者からの質問にも円滑に回答することができます。	60%
2 リクルーターや面接官の役割	リクルーターや面接官がどのような機能を求められているのかを問う分野です。リクルーターや面接官を担う上で、自身の役割を的確に理解しておくことは重要です。役割が曖昧なままでは、採用全体に貢献することが難しくなります。採用担当者と役割をしっかりとすり合わせておきたいところです。	60%
3 見極め	特に面接官にとっては、候補者が自社にふさわしい能力や性格などを有しているのかを評価することが、重要な役割の一つになります。そうした見極めを行う際に気をつけておくべきことに関する問題です。見極めはバイアスなどの阻害要因も多いため、エビデンスに基づく知識を獲得するようにしましょう。	42.9%
4 動機形成・訴求	候補者の志望度を高めなければ、自社に入社するという意思決定を行ってくれません。そのための働きかけの方法について問う分野です。一方で、動機形成の際に過剰なPRを行うと、入社後にリアリティショックが発生することになりかねません。実態を明らかにしながらも、惹きつけを行う方法を学びましょう。	57.1%
5 法規・制度／採用倫理	採用をめぐる法規・制度やコンプライアンスの観点を無視して採用に関わることは危険です。公平で公正な、候補者が不利益を被らない採用を実現しなければなりません。もちろん、どの仕事も職業倫理は求められますが、採用は候補者の職業人生を左右するため、一層の注意が必要です。	66.7%

■ あなたの正答率
(全分野合計)

60.0%

— 参考 —

(受験者全員の正答率)
平均正答率 63.8%
最高正答率 100.0%
最低正答率 26.7%

あなたのランク (四角の囲みが該当ランクです)

ゴールド



85%以上

シルバー



70%以上
85%未満

ブロンズ



60%以上
70%未満



60%未満

採用実務の基礎分野をある程度マスターしていますが、いくつかの苦手分野の知識・技能の不足を克服してください。

一般社団法人 日本採用力検定協会
info@saiyouryoku.jp